

都学歯 広報

目次

●第46回東京都学校歯科保健研究大会	2
●平成24年度「東京都学校歯科保健優良校表彰の応募」と「歯の作文募集」に関するご協力をお願い	5
●インタビュー③ 役員人物探訪	6
●難波昭一監事・荒木良子監事	7
●地区学校歯科医会会長からのメッセージ	8
●麹町学校歯科医会・豊島区学校歯科医会	9
●地区ニュース 練馬／芝・麻布赤坂／麻布赤坂・芝	10
●トピックス 平成23年度学校保健（学校歯科医）研修会／平成23年度学校歯科医基礎研修会／平成23年度第2回参事会／第66回評議員会・総会	11
●会務報告／計報	12

TOGAKUSHI KOHO



都内発祥地シリーズ ⑦

『紙製荷造函創始之地』

欧州でカートン（厚紙製の函）を見てきた田島志一は、これに「紙器」と訳語をつけて、明治45（1912）年「日本紙器製造」を設立、近代的な段ボール箱の製造を開始した。以後社名を変更しながら「日本大昭和板紙(株)」となって現在に至っている。

（所在地 葛飾区亀有三丁目）

写真と文 関根正行



社団法人 東京都学校歯科医会

〒102 東京都千代田区九段北4-1-20

-0073 TEL.03-3261-1675

http://www.tasd.or.jp

E-mail tasd@tasd.or.jp

発行人／鈴木 博

印刷／一世印刷株式会社

103

2012. 3

第46回

東京都学校歯科保健研究大会



川本 強会長の挨拶



華やかにオープン



司会の鈴木 博専務



東京都教育委員会
教育長・(代理)
谷島明彦氏



東京都学校保健会会長
野中 博氏



日本学校歯科医会会長
中田郁平氏



東京都歯科医師会会長
浅野紀元氏



東京都歯科医師連盟
会長 大曾根正史氏



学校歯科保健優良校表彰



学校歯科医30年勤続表彰



久保寺徳利氏の謝辞



作文講評
豊田純子氏
千代田区小学校
国語教育研究部長



優秀作文朗読
「自まんの歯」江東区立南砂小6年
藤田海風さん(右)
「ダイヤモンドよりも…」文京区立
第九中1年 宮尾由美さん(左)



品川区立鈴ヶ森中8年選択音楽の皆さんの合唱

と き 平成24年2月23日（木）
13時
ところ なかの ZERO 大ホール

開幕当初、朝から本降りの雨に出足も鈍ったが、後半は天候も持ち直し、大盛況のうちに閉幕した。



会場の「なかの ZERO 大ホール」



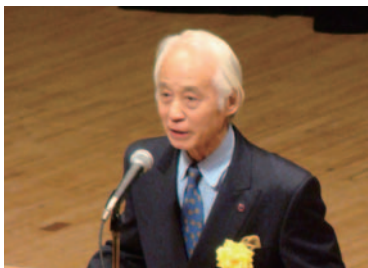
来賓席



特別講演 「あした、笑顔になあれ」
～夜回り先生からのメッセージ～
花園大学客員教授 水谷 修氏の熱弁



主催者席



開会のことば 由井 孝副会長



閉会のことば 小嶋 憲副会長



来場者を迎える受付は忙しい



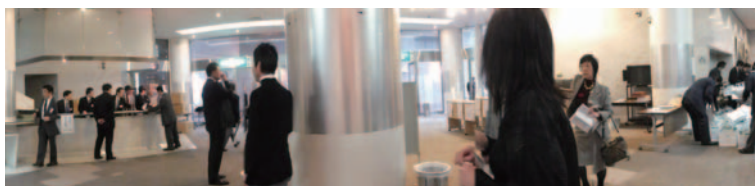
表彰校に渡す賞状は慎重に間違わずに



賑わう来場者受付



満員の客席



開会が近づくとホワイエも慌ただしく



袋づめは開会までのひと仕事



朝から実行委員の打ち合わせ



研究発表の展示



懇親会



西連寺名誉会長の発声で「乾杯！」



学校保健功労者の顕彰



中野駅付近の俯瞰



大会後は会場を「中野サンプラザ13階・スカイルーム」に移して賑やかに懇親会を開催



第46回東京都学校歯科保健研究大会

平成24年度 「東京都学校歯科保健優良校表彰の応募」と 「歯の作文募集」に関するご協力をお願い

東京都学校歯科医会では事業の一環として、毎年、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象とした「学校歯科保健優良校表彰」を募集しており、昨年度より新たに幼稚園も募集しています。また、小学校・中学校を対象とした「歯の作文」の募集もしております。

学校歯科保健優良校表彰は、各校で毎年春に行われる定期健康診断の結果や学校（園）歯科保健の活動状況を調査票に記入し、東京都学校歯科医会に送っていただきます。送られた調査票を東京都学校歯科医会の審査委員会において、学校（園）歯科保健活動が各学校（園）でどのように取り組まれ、児童、生徒の歯・口の健康づくりがどのように実践されているかを審査いたします。審査につきましては、う蝕処置率よりも各校の学校（園）歯科保健の活動状況の評価に重点を置くようにしております。また、各学校の学校歯科医の活動内容も評価の対象になる部分があります。

これには毎年約600校以上の学校に応募していただいております。優良校は東京都学校歯科保健研究大会で表彰させていただいております。

平成22年度より日本学校歯科医会では対象を幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に広げ全日本学校歯科保健優良校表彰を行うことになりました。東京都学校歯科医会では、応募校の中から特に優れた6校（園）を選出し、日本学校歯科医会へ推薦いたします。

この事業の主旨をご理解いただき、一校でも多くの学校（園）が応募されますよう各学校歯科医の先生方のご協力を切にお願い申し上げます。

また、「歯の作文」の募集につきましては、学校歯科保健優良校表彰の主旨と同じく子供たちの歯の健康づくり育成事業の一環として行っております。対象学年は小学校では5年、6年、中学校は全学年となっております。

過去の作文の応募作品数は以下のようにっております。

	小学校	中学校	合計
平成19年度	324	89	413
平成20年度	335	97	432
平成21年度	377	118	495
平成22年度	448	100	548
平成23年度	484	149	633

応募作品は東京都学校歯科医会の審査委員会によって1次審査され、専門家の2次審査へとまわされます。これらの審査を経て選別された優秀作品は、小学校部門から1作品、中学校部門から1作品に絞られ、最優秀作品となります。そして、最優秀作品は毎年2月に開催されます東京都学校歯科保健研究大会の席上において、ご本人に朗読していただきます。また、優秀作品は本会ホームページにも掲載させていただきます。

この事業も子どもたちの歯・口の健康づくりに対する意識を高める手段といたしましては、これに優るものではありません。

事業内容を充分にご理解いただき、各学校歯科医の先生方におかれましては、担当されている学校を訪問する際に、ご協力いただけるよう校長先生、養護教諭に是非お願いしていただけるよう希望いたします。

『学校歯科保健優良校表彰』応募について

●応募締切

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・
特別支援学校

6月末日まで

『歯の作文』募集について

●対象学年

小学校5～6年、中学校全学年

●募集締切

地区教育委員会は、地区学校歯科医会に7月中旬までにお届けください。地区学校歯科医師会は、7月末日までに東京都学校歯科医会にご提出ください。

難波昭一 監事



1. 出身地は？
現住所のすぐ近く、墨田区押上です。今ではスカイツリーの根元になります。
2. 何人兄妹ですか？
4人姉弟です。長姉（79歳）、次姉（76歳）、私（71歳）、弟（68歳）、幸い健在です。
3. 子どもの頃はどのようなお子さんでしたか？
小柄でしたが正義感の強いガキ大将でした。
4. 子どもの頃何になりたかったですか？
学校の先生、又は社会部の新聞記者です。
5. ご自分の性格はどのように思われますか？
楽天主、要するにいい加減なのです。
6. 御家族は何人でどのような構成ですか？
家内と5人の子ども、10人の孫です。嫁、婿入れると21人です。
7. ご趣味はなんですか？
ゴルフ、将棋、歴史、酒の席の談笑
8. 好きな本はありますか？
中学時代、倉田百三「出家とその弟子」。
今は、高橋克彦「火怨」主人公アテルイを尊敬しています。
9. 座右の銘はありますか？
才能に乏しいから、毎日積み重ねること。
10. 学生時代に何かクラブに所属していましたか？
柔道部と合唱部です。合唱部は部長でした。柔道部は大学ではやるつもりはなかったのですが、頼まれてやっていました。合唱は好きでしたので、歌っていました。卒業以降あまり歌うことはなかったのですが、最近は会長に誘われてカラオケを覚え、楽しんでおります。
11. 学生時代に何か思い出に残っていることはありますか？
全国歯科学学生連合（歯学連）の委員長になり、

全国の加盟各校を巡回訪問したこと。その当時は歯科大学が7校で、その他、歯科衛生士の学校が5～6校あるくらいでした。オールデンタルやサマーキャンプ、ゼミナールなどを開催していました。今残っているのはオールデンタルだけでしょうか。

12. 学校歯科医はいつごろから、どのような学校を担当されましたか？
昭和47年4月～平成23年3月（38年間） 区立小学校
昭和54年4月～現在 都立特別支援学校
13. 学校歯科医をやっていてうれしかったこと、楽しかったことなどありますか？
学校へ行くと子ども達が飛びついてきてくれること。知的障がいの子が修学旅行の土産を診療室まで届けに来てくれたこと。
14. 都立の特別支援学校を担当されて長いのですが、そこのことについてお聞かせ下さい。
特別支援学校には、ケンカはありますがいじめの問題はまったくありません。歯科的には外傷が非常に多いです。それと、4割以上の児童・生徒が子どもの時から色々な薬を服用していますので様々な弊害がでてきています。そのことについては、現在も医師会や薬剤師会の先生方と情報を交換し合って突き詰めていきたいと思っております。
この30年間に児童・生徒、保護者、社会が非常に変化してきました。開校当初は約50名だった児童・生徒数も今では300名ほどになります。以前は通常学級に入りたいと考えられていた保護者の方も、今では手厚い教育をしてくれる特別支援校を希望される方が増えているからではないでしょうか。また、障害もその子その子の個性と考えるようになったこともあると思います。
15. 監事として都学歯をみて、感じたこと、思うところをお聞かせ下さい。
ギリギリの予算内で使命感に燃え、頑張っている理事諸公の姿に頭が下がります。
監事として、少し離れて見なければいけないのですが、つつい仲間意識が強くなり、ハッと気付いて自戒しています。
16. これから都学歯にかかわらず、学校歯科医会としてやっていかなければいけないこと。
学校歯科医会としての方向性は決まっていますので、内部組織の整理統合だと思っています。組織の均一性をとっていくところが課題だと思っています。

荒木良子 監事



1. 出身地は？

現在の住所（足立区千住5丁目）で生まれ育ちました。

2. 何人兄妹ですか？

3人姉妹の長女です。

3. 子どもの頃はどのようなお子さんでしたか？

小学校低学年までは、熱を出して学校をよく休んでいました。その後は健康で、女子校で、友人も多く楽しくすごしていました。

4. 子どもの頃何になりたかったですか？

特になかったと思います。時代だったのか、天文学というか宇宙には興味がありました。

5. ご自分の性格はどのように思われますか？

くよくよと考えこむことはありませんが、反面、軽率というか大雑把なところがあり、気を付けなければならないと思っています。

6. 御家族は何人でどのような構成ですか？

今は、母とふたりで暮しています。

7. ご趣味はなんですか？

浅く広く、いろいろあります。テレビが主ですが、スポーツ観戦、とくにサッカーです。その他、読書、映画・美術鑑賞、また、ピアノも習っています。

8. サッカー観戦がお好きとのことですが、どのような試合をご覧になるのですか？

1990年ごろだったと思いますが、フランス人の友人ができて、その人とお話する共通の話題として興味を覚えるようになりました。全日本の代表選から、Jリーグ、プレミアリーグなども見ます。Jリーグでは横浜マリノスのサポーターです。2006年ドイツワールドカップは現地に見に行きました。

9. ピアノをお習いになっているとのことですが？

小さいころにもやっていたのですが、10数年前からまた習い始めました。レッスンの前にしか練

習をしないものですから一向に上達しません。毎年秋に発表会がありますが、緊張してしまうので、あまりお友達もお誘いしないでやっております。

10. 学生時代に何かクラブに所属していましたか？

ゴルフ部でした。今はゴルフとは縁遠くなりました。

11. 学生時代に何か思い出に残っていることはありますか？

ゴルフ部の合宿はよい思い出です。

技工実習は苦手、授業には休まず出席しノートをとっていたので、友達と助け合いました。

12. 歯科医師になってうれしかったこと、つらかったことなどあれば教えてください。

小児歯科を専攻したので、多くのお子さんの成長を見てこられたこと、その患者さんが、自分のお子さんを健康診断につれてこられることは、うれしいことです。

つらいというほどではありませんが、父の患者さんをひきついで、高齢者が多く、苦手な義歯のケースが増えたこと。

13. 学校歯科医はいつごろから、どのような学校を担当されましたか？

30年位前から足立区立第十六中学校、その後合併により足立区立千寿桜堤中学校となり、現在も担当しています。

14. 学校歯科医をやっていてうれしかったこと、楽しかったことなどありますか？

健康診断や保健教育の時の生徒とのふれあい以外に、入学式や卒業式などの行事に参加して、“今の生徒”を知ることができることです。

15. 監事として都学歯をみて、感じたこと、思うところをお聞かせ下さい。

会長はじめ、理事の方々は、積極的に課題に取り組んでおられ、活発な議論があり、その中でコミュニケーションが築かれていっていると思います。

新しい取り組みや、ややマンネリ気味だった従来の事業にも改革の姿勢が見られると思います。

16. これからの学校歯科医会の課題は、何かありますか？

学校歯科医会の目標を一人一人の会員に理解していただき、活動に参加していただけるようにすることかと思っています。

地区学校歯科医会会長からのメッセージ

麴町学校歯科医会

会長 愛知 徹也

麴町学校歯科医会は千代田区三歯科医師会（千代田区、丸の内、麴町）の麴町歯科医師会地域にある3幼稚園、1こども園、4小学校、1中学校、1中等教育学校、1都立高校の園医・校医、11名で構成されています。

当会を最も特徴づけることは年間11回（8月休み）の学校歯科医会・研修会を開催していることです。学校には元々独自性がありますが、園医・校医の熱意により学校歯科保健に格差が生じています。教育の独自性とは異なり、国民に平等であるべき健康において格差を放置することは学校歯科医会の無策であり好ましくありません。そこで将来的には地域における学校歯科保健活動の標準化、活発化を目標としつつ、まずは各園校の現状を知ることから始めようと、2007年度より開催されました。

会では冒頭に各園校、都学歯、日学歯、関係団体の行事予定について検討します。ブロック別研修会や学校歯科医基礎研修等の研修会は全員参加を前提としています。また園医・校医全員が各園校の行事予定を知ることにより、補助者や見学者として相互にかつ積極的に他園・校の活動へ参加することが可能となりました。例えば、中等教育学校・都立高校では各科の健康診断を同日に行うため1日で1,000人程度を診なければならず、当該校医の他に補助の歯科医師を必要とします。そこで各自のスケジュールを調整し健康診断補助担当者を決めています。補助者を他に依頼することなく地区の園医・校医が担当することによって、健康診断レベルの均一化＝健康診断受診者によって診断レベルに格差が生じにくいという利点が得られました。

また、実技を伴う歯科保健教育活動においては、園医・校医一人ではクラス全員の指導に限界があるので、事前に指導補助担当者を募り、複数指導者によるより緻密な指導を目指しています。すなわち、一園一校を一人の園医・校医が担当し責任をとるという法の定めを堅持しつつ、個人で



はやや手に余る活動でも当該園・校医の統括のもとに学校歯科医会として協力して活動を行う、責任を果たすという体制、集団指導体制を模索しています。

また、この会は新任予定者の研修も兼ねています。「歯科医師でありさえすれば誰でも校医になれる」という考え方は日本中の校医が健康診断とむし歯治療に明け暮れていた過去のものです。現代は研修会でも再三言われるように校医の職務は保健教育、保健管理（健康診断）、組織活動であり、歯科医師でありさえすれば可能なことは健康診断だけです。すなわち保健教育についてはその目的、手段、実技等を学び、実施技能を習得しなければなりませんし、組織活動を行うためには関係機関・団体との連携を知らねばなりません。そして何より学校教育の本質を理解し、歯科医学知識を振りかざすだけの専門馬鹿にならない注意が必要です。新任予定者は前年度より当会合への出席を義務付けられ、園医・校医の活動、学校歯科医師会の実情を学ぶことになっています。各園・校の活動への参加も推奨されており、見学または実際に指導を行うことにより研鑽を深め、自立した園医・校医になる日に備えます。また研修の一環として都学歯主催の研修会に、許可を得てオブザーバー参加させていただくことも実現しています。園・校において的確な発言ができて、歯科保健教育の企画・実施ができる園医・校医の育成には都学歯も積極的ですが、いちばん身近な地区の学校歯科医会が責任をもって指導すべきと考えています。

その他、最近話題に取り上げられた問題は、総合こども園、ネグレクト、薬物、依存症などであり園医・校医としての共通の認識・理解・発言を目指し、話し合いが行われました。

豊島区学校歯科医会

会長 花香 政人

豊島区学校歯科医会は、昭和30年代前半に発足し、今まで延25人の会長並びに役員で運営されてまいりました。本会は、学校保健安全法の主旨に添い学校保健の普及発展ならびに研修に努め会員の相互の親睦を図ることを目的とすることで設立されました。

その目的を達成するために次の事業を行っております。まず初めに公益社団法人豊島区歯科医師会とともに区役所、区議会の代表者に対し1年間の事業報告を行い、それにより新たな事業への取り組みを説明し、必要であれば予算の要望を行い区役所並びに区議会へ本会の目的を理解していただける様努力しております。

次に、各校医は、春秋の定期健康診断、年1回の歯ブラシ指導（区立幼稚園、小学校、中学校全校で実施）を都歯科衛生士会の協力で全学年で行っております。また歯科講話は、各校医が、その学校に合った特色ある方法で、取り組んでおります。小学校医は秋に就学児童健康診断を行い、学校保健委員会に於いては、他の校医の方々と子ども達の保健活動に協力しております。歯ブラシ指導の中で小学四年生は、RDテストを行い、これを基に子ども達の意識が歯ブラシの必要性にむけられたかを、アンケート調査を東京都歯科衛生士会の協力で行っております。又一昨年の全国学校歯科保健研究大会においてRDテストを行う前と行った後のう蝕の罹患率への影響を調査し研究発表も行っておりまいた。このように但健康診断を行い講話を行うだけではなく、健康診断の中から問題提起された事を皆で協議し、よりよい保健活動を行っていききたいと思っております。

豊島区の中に豊島区学校保健会という組織があり、学校歯科医会もこの中に所属し他の校医会と共に子ども達の安全に、また安心にすごせるよう協力しております。豊島区では、保健会の協同事業として、一昨年より中学生の骨密度測定を実施し、今問題になっている高齢者の骨粗しょう症への予防の一環として骨密度を測定し、平均以下の子ども達へどのように対応していくか、測定からの結果を踏まえて検証していきたい。また学校歯科医会は、骨密度の結果から、う蝕へのリスク、顎形成等に関連性が認められるかを考えて協同で研究発表をしていきたいと思っております。このように自分達の分野への関心だけではなく他の分野との関連性も視野に入れこれからの学校歯科医を発展させていきたいと思ひます。

豊島区学校歯科医会は、小学校校医23名、中学校校医8名、幼稚園医3名、その他、都立高校・私立校5名、延39名で構成されており、その中から会長、副会長、理事、監事合計8名で会を運営しております。会の主な事業は、月1回の理事会、年2回の総会、豊島区学校保健会1回、衛生士会の連絡協議会、公益社団法人豊島区歯科医師会、豊島区歯科医師連盟との連絡協議会、区並びに区議団への事業報告会、関東甲信越静学校保健大会への参加、都学歯主催の城北ブロック協議会、全国学校歯科保健研究大会、全国学校保健研究大会、東京都学校歯科保健研究大会、公益社団法人豊島区歯科医師会の協賛のよい子の図画ポスターコンクール、よい歯の作文コンテストの選出、最後に養護教諭との合同研修会と1年間のスケジュールは目一杯です。

最後に本会の一番の目標は、「給食後の歯ブラシ」これを豊島区の全校で実施をしたいと思ひて努力をしてまいるつもりです。

練馬区学校歯科医会会員研修会

練馬

練馬区学校歯科医会会員研修会が練馬区歯科医師会館で会員に、練馬区保健所歯科衛生士、栄養士も参加して11月17日に行われました。

例年、講師には、大学教授、学校歯科医の先生に依頼していましたが、今回は練馬区立八坂中学校栄養教諭 飯島敬子先生に【家庭・地域と共に取り組む食育】と題して講演して頂きました。

地元の生産農家で農業経験し、そこで収穫した小麦でうどんづくりをしていることや、酪農家からいただいた豚を1年間生徒が育て、給食にするなど「命の大切さ・命の食べ方」を国語、理科、家庭科などの授業と協力して行っていること。また、親子料理教室、スポーツ料理教室など地域と連携して数々の行事を行っていることなどのお話をいただきました。

ここであまり聞きなれない「栄養教諭」ですが、平成16年学校教育法等の一部改正により各学校における食育の推進の指導体制の要になう職で、現在東京にはわずか36名、練馬区内には飯島先生1名しかいません。

その飯島先生との出会いは偶然のもので、6月の歯科巡回指導を八坂中学校で行ったときにたまたま随行した担当理事と話し合いをしたのがきっかけでした。



9月に小中連携合同食育分科会研究授業【人間の歯の特徴と食性】にて担当学校歯科医にも専門家の立場から話をさせてもらいました。

その後、これも恒例の中学校長との研修協議会で、校長先生にも食育に関心を持ってもらおうと八坂中の授業内容を発表しました。

そして、今回の講演となったのですが、その打ち合わせで、我々歯科医にとって食育とは、摂食・嚥下が最重要事項と考えていましたが、栄養教諭・栄養士そして行政では、栄養バランス、いかに食事をしてもらうかがメインで、栄養士関連専門学校でも、摂食嚥下は、あまり扱われていないとのことでした。

今回、学校栄養士会東京支部長をしている飯島先生に口腔機能の重要性に関心をもってもらえた事は、練馬区学校歯科医会ばかりでなく東京都学校歯科医会にとっても有意義なことであり、これからも協力関係を持っていきたいと考えています。（金澤正彦）

平成23年度第1回合同学術講演会

芝・麻布赤坂

平成23年11月24日、港区勤労福祉会館にて港区芝歯科医師会学校歯科医部会・麻布赤坂学校歯科医会・保育園歯科医会共催平成23年度第1回合同学術講演会が開催されました。講師に日本歯周病学会指導医の岡本浩先生をお招きし「プラークコントロールが一番大切です」との平易な演題でご講演いただきました。

歯周病だけでなくう蝕についても大切なのはプラークコントロールであり、①プラコンが不良であれば何が将来起こるのか、また反対に②プラコンが適切に行われたら疾患が如何に改善されるか、③同時に若年者の0.1～1%程に認められる急速破壊性歯周炎（若年性歯周炎）の病因の説明と対処の仕方、④歯に対するフッ素の必要性についてのお話しでした。



う蝕や歯周病の原因はデンタルプラークの中に生息する多数の微生物であり、このバイオフィルムを柔らかい歯ブラシやtoothpickで毎日落とすことが最も大切だということが、歯科医はもちろん受講された学校や保育園の関係者にも再認識いただけたと思います。明日からの臨床そして学校保健活動に役立てていただきたいと思いました。（江里口裕彦）

「歯科からアレルギーを考える」講演会

麻布赤坂・芝

平成24年2月3日、赤坂区民センターにて、麻布赤坂学校歯科医会・保育園医会、芝歯科医師会学校歯科医部会の共催の講演会が行われた。テーマは「歯科からアレルギーを考える～咀嚼・呼吸との関連性について～」であった。麻布赤坂学校歯科医会会長の氏家賢明先生より、校医である六本木中学校のアレルギー疾患の罹患率の高さから歯科からみたアレルギー対策の必要性を感じたとのこと、歯科から見たアレルギー予防としては、お口をきれいに保つ、良く噛んで食事をする、口呼吸を直すとのことであった。次に、麻布赤坂学校歯科医会会員の大沼勝宏先生から「アレルギーを予防するには～食育は食材だけでは語れない～」との題で①食育することとは②食育することと免疫との関係③アレルギー予防の対策についての話があった。最後



に麻布赤坂学校歯科医会会員の古畑升先生から「歯科から見た鼻呼吸と口呼吸」との題で、鼻呼吸の重要性、鼻閉の原因と疾患、口呼吸の治療と予防などについての話があった。この講演会のテーマについては、氏家会長のもと麻布赤坂学校歯科医会で取り組んでいるものであります。今後は各会員に理解をひろめ、各校児童生徒の健康増進に役立てたいと考えております。

トピックス

平成23年度学校保健(学校歯科医)研修会

平成23年12月8日(木)10時より、東京都教育委員会・東京都学校保健会・東京都歯科医師会・東京都学校歯科医会の主催で東京都教職員研修センターにおいて平成23年度学校保健(学校歯科医)研修会が行われた。

鈴木専務理事の司会のもと、由井副会長が開催を宣言され田村東京都教育庁地域教育支援部歯科保健課長、野中東京都学校保健会会長、川本東京都学校歯科医会会長の挨拶の後、①「学校歯科医の職務について」を川本会長が講演され、我々がなすべき職務を話された。②「食育を理解するための味覚の基礎」という演題で東京歯科大学生理学講座 澁川義幸講師が現



在の味覚について以前教わったこととは異なってきたと話された。

最後に小嶋副会長が閉会を唱えた。

トピックス

平成23年度学校歯科医基礎研修会

平成23年12月8日(木)13時より、東京都教職員研修センターに於いて、東京都教育委員会・東京都歯科医師会・東京都学校歯科医会の主催で開催された。演題は、

- ①「学校歯科保健の概念」 専務理事 鈴木 博
 - ②「学校歯科保健における保健教育」 理事 澤田章司
 - ③「学校歯科保健における保健管理」 理事 長井博昭
 - ④「学校歯科保健における組織活動」 理事 牧野 寛
- によって講演され、約400名が受講された。



トピックス

平成23年度第2回参事会

平成24年1月19日(木)16時より、平成23年度第2回参事会が歯科医師会館3F会議室にて開催されました。鈴木専務の司会のもと、由井副会長が開会を宣言し、川本会長が挨拶を述べました。浅野紀元都歯会長、大曾根正史都連盟会長、田村道子都教育庁課長が挨拶をされました。議題に入り①第46回東京都学校歯科保健研究大会について②第66回評議員会・総会についてそれぞれ承認されました。また新法人制度に対応すべき、代議員制度について参事の先生方に意見を伺い、最後に小嶋副会長が閉会を述べました。



第66回評議員会・総会

平成24年3月15日（木）15時より歯科医師会館3階第1会議室において評議員会が開催されました。鈴木専務理事の司会のもと由井副会長が開会を宣言されました。点呼により評議員70名のうち出席者62名（予備評議員6名を含む）でしたので、会議は成立しました。川本会長の挨拶、次いで来賓の中田日学歯会長、浅野都歯会長、大曾根東京都歯科医師連盟会長の挨拶がありました。議長・副議長の選出では議長に練馬の望月評議員、副議長に麻布赤坂の藤野評議員が選出されました。次に議事録署名人に足立の志村評議員、東久留米の田口評議員が選出されました。

議事に入る前に、平成23年度の物故会員について哀悼の念を込めて黙祷を行いました。

次いで会務報告を渡邊総務担当理事が行い、次に会計の長沼理事より会計現況報告がなされました。また、予算決算特別委員会報告は、松浦委員長が報告されました。以上の報告承認事項について質疑がなされ、評議員の賛同を経て了承され、議事に移りました。

第1号議案 平成23年度収支補正予算

第2号議案 平成24年度事業計画

第3号議案 平成24年度収支予算

第4号議案 役員選挙

第5号議案 選挙管理委員会及び予備委員の選任

第1号議案につき長沼会計理事より事務所の改修についての説明があり、また第2号議案については鈴木専務理事より説明がなされ、第3号議案については長沼会計理事より説明がありました。一括上程され、質疑要望を経て、評議員の挙手多数により第1号議案、



第2号議案および第3号議案が可決承認されました。

つづいて第4号議案 役員選挙について鈴木専務より上程され、選挙管理委員会山本委員長により報告がなされ、評議委員の賛同を得て以下のように可決承認されました。また、理事については会長の選任となりました。

会長 川本 強（葛飾）

監事 難波 昭一（向島）

荒木 良子（足立）

次いで、第5号議案について鈴木専務理事より上程され、評議員の挙手多数により可決承認されました。

また、鈴木専務理事より25年度より一般社団法人への移行に伴い、24年度中に各地域で、代議員の選任を民主的な方法で行って欲しいとの説明がありました。

最後に小嶋副会長が閉会の辞を述べ終了しました。

評議員会終了後、引き続き多数の参加を得て総会が開催され、上記事項につき報告があり、それぞれ承認されました。

会 務 報 告

9/1（木）	埼玉県歯科医師会との打合せ	埼玉県歯科医師会館
	第3回新法人制度・定款諸規則検討臨時委員会	会館
9/5（月）	都立高等学校保健研究会役員連絡会	会館
9/8（木）	12月研修会場下見	都教職員研修センター
9/14（水）	第4回学術研究委員会	会館
9/15（木）	第6回理事会	会館
	歯の作文審査会	会館
	第5回会誌・広報委員会	会館
	中央ブロック研修会	文京シビックスカイホール
9/21（水）	学術講演会講師打合せ	会館
9/22（木）	第1回選挙管理会	会館
	図画・ポスターコンクール審査会（都歯）	会館
9/29（木）	作文2次審査依頼	千代田小学校
10/13（木）	第7回理事会	会館
	第6回会誌・広報委員会	会館
	江東ブロック研修会	すみだ産業会館
10/20～21	第75回全国学校歯科保健研究大会	愛媛県
10/24（月）	第5回学術研究委員会	会館
10/27～28	第61回全国学校保健研究大会・全国歯科医協議会	静岡県
10/28（金）	放射線に関する研修会	静岡県
11/5（土）	東京都教育委員会表彰式	都庁
11/13（日）	図画・ポスターコンクール表彰式	会館
11/15（火）	第6回（臨時）学術研究委員会	会館
11/17（木）	第8回理事会	会館
	第7回会誌・広報委員会	会館
	城西ブロック研修会	中野区歯科医師会館
11/26（土）	多摩ブロック③地区学校歯科医会連絡協議会	西多摩歯科医師会館
12/1（木）	基礎研修会予演会	会館
	東京都養護教諭研究会役員連絡会	会館
	作文2次審査受取	千代田小学校
12/8（木）	学校保健（学校歯科医）研修会	都教職員研修センター
	学校歯科医基礎研修会	都教職員研修センター
12/15（木）	練馬区学校保健大会	練馬文化センター
	都学歯大会現場打合せ会	なかのZEROホール
	第9回理事会	会館

12/22（木）	東京都教育委員会連絡協議会	北大路新宿茶寮
1/12（木）	平成24年度予算打合せ会	会館
1/19（木）	第7回学術研究委員会	会館
	第10回理事会	会館
	第2回参事会	会館
1/26（木）	特別支援学校歯・口の健康づくり研修会	都教職員研修センター
	躍進の集い（都歯連盟）	ホテルグランドパレス
2/8（水）	日本学校歯科医会加盟団体長会	会館
2/9（木）	第11回理事会	会館
	第2回選挙管理会	会館
2/16（木）	第2回予算決算特別委員会	会館
2/18（土）	多摩ブロック①地区学校歯科医会連絡協議会	府中市歯科医師会館
2/23（木）	第46回東京都学校歯科保健研究大会	なかのZEROホール
	学校歯科保健功労者の顕彰と懇親会	中野サンプラザ
3/1（木）	東京都養護教諭研究会・総会	なかのZEROホール
3/5（月）	選挙管理会正・副委員長打合せ	会館
3/7（水）	第69回学童歯みがき大会組織委員会	会館
3/8（木）	第12回理事会	会館
	第8回会誌・広報委員会	会館
	第1回学術委員会	会館
3/15（木）	第66回評議員会・総会	会館
3/19（月）	関東甲信越静学校保健大会関係者会議	都医師会館
3/21（水）	日本学校歯科医会総会	会館
3/22（木）	東京都学校歯科保健推進支援校打合せ	赤羽商業高校
	第9回会誌・広報委員会	会館
3/23（金）	東京都歯科保健対策推進協議会	都庁
3/28（水）	健康づくりフォーラム実行委員会	都医師会館
3/29（木）	役員親睦会	汐留浜離宮

【訃報】

神 田 小 熊 朝 秀（和泉小学校） H23.11.4逝去

上記の先生が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。（敬称略）